

**第5回高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議  
知事メッセージ（令和7年1月17日）**

盛岡市の養鶏農場で発生した高病原性鳥インフルエンザの3事例目については、昨日、全ての防疫作業が完了しました。

本県では、過去最大規模となる約40万羽を飼養する大規模農場が対象となりましたが、国、他県、盛岡市をはじめとする県央・県北地域の市町村、岩手県建設業協会や岩手県バス協会などの関係団体、企業、そして陸上自衛隊岩手駐屯地の皆様の多大なる御協力のもと、順調に作業を進めることができました。

これまで、昼夜を問わず防疫作業に対応いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

2事例が発生した盛岡地域においては、まん延防止を速やかに行うため、発生農場から半径10キロメートルの制限区域内の養鶏農場において、県独自に、緊急的な消毒を行ったところでした。

また、農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部での決定を踏まえ、県内全域の養鶏農場を対象に緊急消毒を実施することとしました。

今後、県内の農場の緊急消毒を速やかに実施し、これ以上の発生防止やまん延防止に万全を期してまいります。

県内の養鶏業者の皆様には、高病原性鳥インフルエンザが、いつ、どこで発生してもおかしくない状況にあるとの認識のもと、農場にウイルスが侵入する「隙」がないか再点検し、見逃しがちな「隙」を埋める取組をお願いしてきましたが、発生を防ぐための更なる飼養衛生管理の徹底をお願いします。

県民の皆様には、鳥インフルエンザウイルスが他の地域に拡散することを避けるため、引き続き、野鳥への餌付けの自粛や、野鳥に近づきすぎないようにするなどの対応をお願いします。

例年、春先までは、高病原性鳥インフルエンザが全国的に確認されています。これまで以上に緊張感をもって、対応していきましょう。